

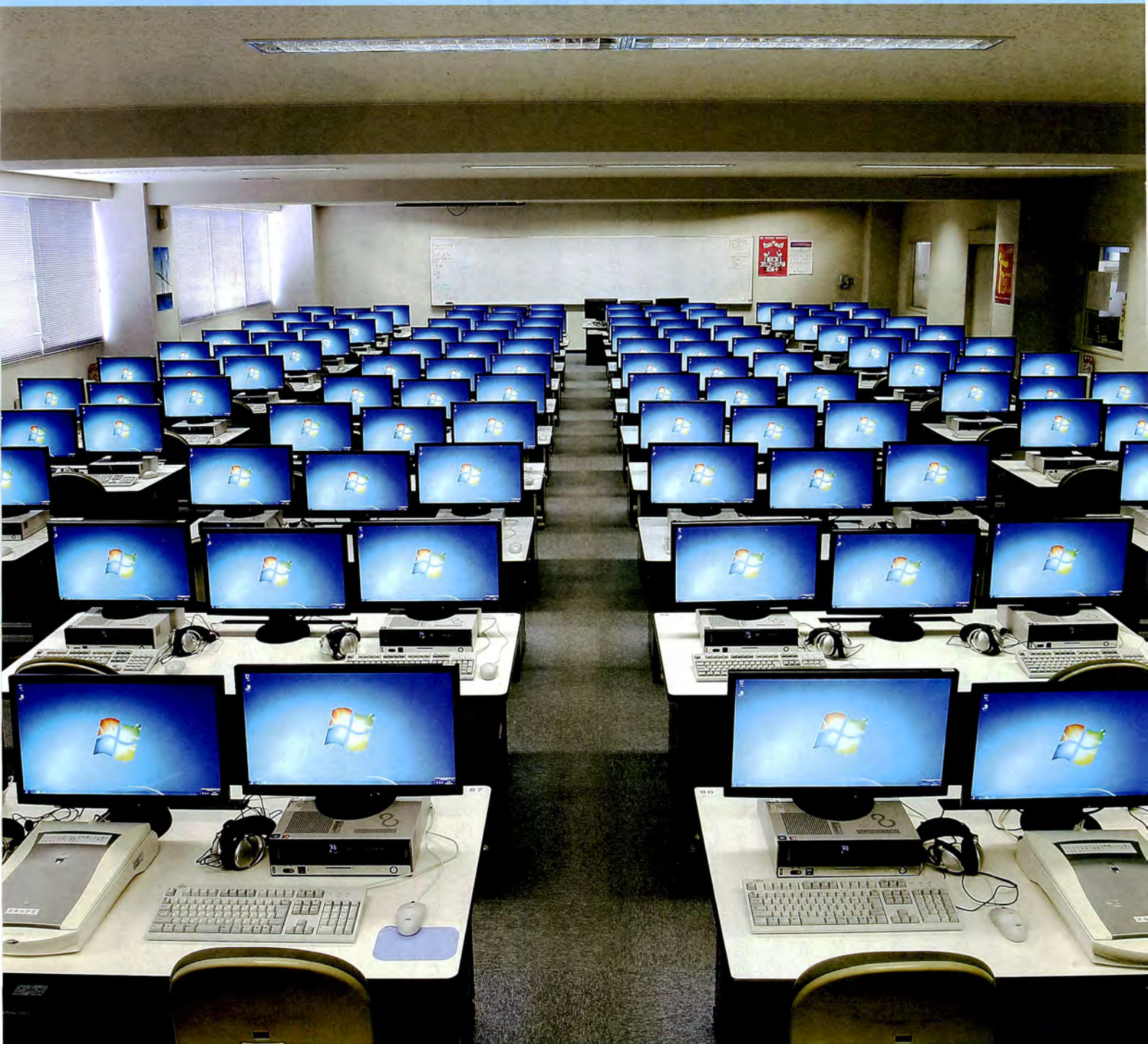
Nanakamado



vol. **49**

ななかまど

北海道情報大学 学内報 2010(H22).07.20 発行



写真/松尾記念館 2階実習室



発行：北海道情報大学
〒069-8585
江別市西野幌59-2
TEL 011-385-4411
FAX 011-384-0134

目次

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 02 ■ 巻頭言 | 22 ■ 留学生の日本語弁論大会 |
| 03 ■ 平成22年度入学式 | 23 ■ 留学生、国家試験に合格 |
| 04 ■ 新任教員あいさつ | 24 ■ 学生サポートセンターより |
| 10 ■ 事務局長就任あいさつ | 25 ■ 保健センターより |
| 12 ■ 第19回 YOSAKOIソーラン | 26 ■ ゼミ紹介 |
| 14 ■ 第20回 体育祭 | 27 ■ クラブ紹介 |
| 17 ■ 保護者の会 役員会開催 | 28 ■ 平成22年度 公開講座開始 |
| 18 ■ 留学生の宿泊研修 | 30 ■ 平成21年度決算報告 |
| 20 ■ 留学生の企業研修 | 32 ■ 大学主要行事等/編集後記 |

学生時代に 身につけておきたい能力

学 長 長谷川 淳



昨年度は、世の中で「就職氷河時代の再来」と話題になるほどの厳しい求人環境となり、大学に限らず、教育機関を今春卒業した（あるいは卒業するはずだった）就職希望者の多くが、希望を達成できない状況となつてしまいました。本学も例外ではなく、それまで九〇%代後半の就職内定率であったものが、学生諸君の一生懸命の努力と就職を支援する教職員の奮闘があつたにも関わらず、北海道内の大学新卒者の就職内定率と比較すると高い水準ではあつたのですが九〇%を僅かにこえたところにとどまりました。

本年度も、決して楽観できる状況ではなく、むしろ昨年度よりも厳しい状況となる可能性もあります。来年度以降についても、今後の我が国の経済状況がどのように推移するかは密接に関係してはいるのですが、急速に状況が好転すると楽観視はできないと感じています。

このような最近の状況が直接の契機となつたわけではありませんが、各教育機関の新卒者が直面する厳しい就職環境、若年未就業者の急速な増加、若年層を中心とする早期離職者の増加等の状況をみると、これからの我が国が行く末について、「このままでは我が国の経済が崩壊するのではないか？」との懸念が深まってきています。新卒者をはじめとする若年層が生き生きと活躍し続けることが出来るような社会を再構築して初めて、我が国の安定的かつ継続的な経済進展が実現できます。またそのためには、これを支える若年層の能力向上と活性化が必要不可欠であり、そのためのシステムづくりも重要です。

現在、文部科学省中央教育審議会のキャリア教育・職業教育特別部会では、現在の子どもや若者が直面している喫緊の課題である「学校から社会・職業への移行」や

「社会人・職業人としての自立」の問題を解決するため、種々の方策について検討を続けています。

社会的・職業的自立、社会・職業への円滑な移行に必要な力に含まれる構成要素としては、「基礎的・汎用的能力」、「基礎的・基本的な知識・技能」、「能力や知識・技能の基盤となる」意欲・態度及び価値観、「論理的思考力、創造力」、また特定・一定の仕事を遂行するために必要な「専門的な知識・技能」の五つがあると考えられています。

「基礎的・汎用的能力」は、分野や職種にかかわらず、社会的・職業的に自立するために必要な基盤となる能力です。その内容としては、人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力があり、発達段階に応じて各教育機関において系統的に育んでいく必要がある能力です。大学生活の中で、将来どのような職業に就くことを希望しているかにかかわらず、意識して是非高めておきたい必要不可欠な能力です。また「意欲・態度及び価値観」、「論理的思考力、創造力」も同様です。さらに、大学での勉学においては「専門的な知識・技能」を身につけることを最重要視しがちですが、就職活動に関連して採用担当者から良く言われるのは、「基礎的・基本的な知識・技能」を十分に身につけておいて欲しいということです。基盤ができていてこそ「専門的な知識・技能」であること意識しておきたいものです。

本学では、キャリア教育・職業教育を教育プロセスの多くのところに系統的に配置して実施してきています。自覚して取り組んだ学生諸君には、間違いなく大きな成果を挙げてもらえると考えています。学生諸君は、是非積極的に取り組み、自らの能力向上に役立ててください。

平成22年度 入学式

4月5日(月)午前十時から、
本学松尾記念館講堂において、
平成22年度北海道情報大学入学
式が行われました。

入学式の模様は、式場に設置
されたテレビカメラ四台により、
保護者室の二〇一教室、二〇二
教室と二〇四教室、そして全国
にある通信教育部の各教育セン
ターにも生中継され、多くの保
護者や教職員に見守られる中、
一〇〇〇名余りの新入生が、情
報大学生として、新たな大学生
活をスタートさせました。

今年度は入学生が多く、座席

を急遽追加したほどで、式
場内に保護者席を用意でき
ませんでした。が、厳粛なう
ちにも和やかな雰囲気にな
か行われました。

式の中では、入学生代表
として、山内健寛さん(先
端経営学科一年)が、南京
大学編入学生代表として、
張衡飛さん(情報メディア
学科三年)が、これからの
学生生活の抱負について宣
誓しました。

式終了後には、新入生と
保護者に対して、本学の開学に
至った経緯等について知ってい
ただくために、本学園の創立者
である松尾三郎前理事長の生誕
九十年を記念して収録されたD
VDの上映を行い、その後、学
科・専攻ごとに分かれて場所を
教室に移し、新入生・保護者・
クラス担任の顔合わせを兼ねた
学科別等ミーティングが行われ
ました。

(総務課)

式次第

- 一 修礼
- 一 開式の辞
- 一 学長告辞
- 一 理事長祝辞
- 一 祝辞・祝電披露
- 一 教員紹介
- 一 入学生代表の言葉(宣誓)
- 一 南京大学編入学生代表の言葉
- 一 閉式の辞
- 一 修礼



祝辞を述べる松尾理事長



告辞を述べる長谷川学長



式場の模様



大場久照

情報学部
経営情報学
准教授

着任のあいさつ

4月1日付けで経営情報学部医療情報学科に着任いたしました。

私は昭和47年生まれ現在三十八歳の道産子です。親の転勤の関係で札幌市や釧路市など道内を転々としておりました。平成3年3月に函館ラ・サール高等学校を卒業し同年4月に北海道大学医療技術短期大学部診療放射線技術学科に入學しました。北大では、現在医療情報学科長を務められている和田龍彦先生の物理学の講義を受けておりました。情報大で学生時代の先生とともに仕事ができることを大変光栄に思っているところでもあります。平成6年4月に札幌医科大学附属病院放射線管理室に診療放射線技師として就職し、平成17年6月までの十一年間院内・学内の放射線安全管理業務や核医学検査をはじめとする放射線診療に従事しておりました。札幌医大病院在籍中は院内・学内の仕事だけでなく、厚生労働省医薬局、北海道保健福祉部、札幌市保健所等の医療行政機関とともに医療放射線の安全管理に関わる法規制事項についての調査研究や協議などの仕事もしておりました。日本放射線技術学会北海道部の仕事関

係では、現在医療情報学科の教授を務められている上杉正人先生とも一緒にさせていただき、今度は同じ職場で一緒に仕事ができることを大変うれしく思っているところであります。これらの業務経験が大学院進学のかっかけとなりまして、平成14年4月に北海道大学大学院医学研究科医科学専攻修士課程(医療情報分野)の第一期生として社会人入学することになりました。修士課程では北海道保健福祉部の国民健康保険患者受療動向データを使わせていただきました。新しい受療行動の分析指標を用いた道内の受療動向の定量評価を行い、その研究成果を道庁に還元いたしました。引き続き平成16年4月より北海道大学大学院医学研究科社会医学専攻博士課程(医療情報学分野)に進學しました。博士課程では情報学的な観点からの地域医療の分析・評価を研究テーマにして四年間研究し学位論文「地理情報システム(GIS)を用いた地域医療計画の評価に関する基礎的研究」としてまとめ、平成20年3月に博士課程を修了し博士(医学)の学位を取得しました。

修士二年目あたりから教育研究者の道を模索し始めまして、博士課程二年目の平成17年6月に札幌医大病院を退職し、同年7月より弘前大学医学部保健学科の助手として診療放射線技師養成に関わる教育・研究に従事することになりました。弘前大学では私の専門分野である医療情報学や臨床経験のある核医学検査技術学、大学院で勉強した医療統計学などの講義・演習・実験を担当させていただき、貴重な学部教育の経験を得させていただきました。平成19年には大学院部局化に伴い大学院保健学研究科の助教となり、学部生の教育だけでなく大学院生の教育サポートも行うこととなりました。研究の方は科研費や民間の研究費が採択され、充実した医療情報学・医療管理学の研究活動を行っておりました。このような有意義な教育研究者生活を過ごさせていただいた弘前大学に大変感謝しております。

情報大での今後の目標ですが、第一に医療情報学科での学部教育体制を充実させ、診療情報管理士や医療情報技師といった医療関連資格の取得率をアップさせることです。これにより就職率の向上にも繋がると考えております。第二に大学院修士課程における医療情報分野コースの立ち上げです。卒業研究で行った研究成果を発展させるためにも大学院の存在は重要です。モチベーションの高い学部生や社会人を受け入れることで大学も活性化するものと考えます。和田学科長を中心に準備を進めていく所存であります。研究の方は北大、弘前大での研究内容を引き続き行っていく予定です。他学科、他学部の先生方と共同研究できれば幸いです。

最後になりましたが、医療情報学の専門家として情報大の発展に寄与していく所存でございますので、皆様のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



金間 大介

経営情報学部
経営学学科
先端経営学
准教授

自己紹介

□生まれ：札幌市東区
□高校：札幌西高校
□大学と大学院：横浜国立大学
□前職：文部科学省科学技術政策研究
所
□専門：イノベーション政策・技術
予測・産学連携
札幌(十八年)↓横浜(十六年)↓そ
してまた札幌に戻ってきました。地
元に戻ってこられてとても嬉しいで
す。でもそれと同時に、大好きだっ
た横浜を離れてちよつと寂しい。

果」の三つです。ぜひ一緒に考えて
いきましょ。□生年月日：1975年12月28日(中
途半端な年末のせいで、あまり良
い思いをした事ありません)
□血液型：O型
□趣味：競馬・映画・散歩
□好きな食べ物：お寿司(というか、
回転寿司)・アイスクリーム(必ず
毎日食べます)
□苦手な食べ物：お酒(一滴も飲め
ません。残念)
□好きな言葉：ノブレス・オブリュ
ージュ

□特技：水泳・スキー
水泳の自己ベストは25秒9(五十
m自由形：野幌総合運動公園：高校
2年時)。でもさらに更新したい。
衰えたと思いたくないから。
スキーは、(一応)一級持っています。
でももう滑れないかも…。ちなみに、
ニセコで一度遭難したことがあります。
耳と手が凍傷になりました。た
だ、その経験を活かして大学時代の
冬休みにニセコ・アンヌプリでパト
ロールのアルバイトをしました(入

生、何が役に立つかわからない)。
□好きな場所：競馬場・アメリカ東
海岸・シンガポール・横浜みなと
みらい
アメリカでは一年間、バージニア
工科大学で研究した経験があります。
英語での生活は本当に脳のエネルギー
を消耗するため、夜八時半には爆
睡してました(おかげで今でも早寝
早起き)。
□苦手な場所：蒸し暑いところ(横
浜時代の夏は、昼も夜もエアコン
つけっぱなし)
□学生の皆さんへ：
(特に道内出身の)学生のみんなに
は、一度は道外に出ることを強くお
勧めします。その理由は次の三つ。
1. 東京圏や大阪圏には色んな人が
集まってくる(ほぼ毎日)がケンジ
ンショー状態)
2. がんばってる人がたくさんいる
(地元を離れることは、自分に戦
う力をくれます)
3. 故郷を持つことができる(きつ
と自分を応援してくれる人たちが
増えます。そして、帰省する喜び
を味わえます)
満員電車がきついか、虫が嫌だ
とか、そんなことを言っただけいま
せん。そんなことは、行ってみたら
とても些細なことだと気付きますよ。
教育面、就職面で色んな支援体制
が整っている情報大に入学できたみ
んなは、とてもラッキーだと思いま
す(自分は団塊ジュニア世代で人口
も多く、ひたすらほったらかされた)
求めさえすれば、きつと自分でも驚
くようなことができるようになるで
しょう。人は本気になれば、一瞬で
でかくなれます。
ということで、自分もがんばりま
す。



Photo by Shinnosuke Inagaki

川上 正博

学部
学
ア
ディ
メ
情報
情報
教授

デザインは「脳内カクテル」です。

●北海道情報大学「最初の印象」

五年ほど前、最初に本学を訪ねたときのこと。高速のバス停を降り、頂いた地図を頼りに向かっていったが、正面に着いたとき、どこから入っていいのかわからなかった。それで同じバスを降りた女子学生らしき人に「事務所はどこですか?」と訊ねた。その人は「こりして」「ここを廻ってあそこを右に」と教えてくれた。その発音が少し外国人っぽかったので「留学生なの?」と聞くと「中国から来ています」と答えてくれた。

外国にも開かれている大学なんだろうと思った。また留学生の彼女がとってもやさしく明るかったのが印象的だった。もうひとつ、あの正面のガラス部分をなぜ廻り込まなければならぬ設計なのだろう?と、ちょっと思った。今考えればこれがユニバーサルデザインなんだ!

●ここまでの「みちのり」

僕は、デザイナーとしての道をまっしぐらに進んできた。最初に就職したのは白石区に今もあるR製パン会社の企画宣伝室。デザインに大変

力を入れていた会社で、先輩デザイナーが作り上げたCI(コーポレートアイデンティティ)をしつかり研究し、広告とパッケージのデザインと年間の宣伝計画などをこなしていた。四年ほど勤め東京に移り、念願だった出版社の宣伝部の仕事をした。

K社で女性雑誌や新書の表紙やポスターや広告のデザイン。女性ファッション雑誌(今もお姉系で結構人気あります)創刊の立ち上げにも加わった。

札幌に戻りデザイン会社を作りいろいろなクライアントにお世話になった。デザイナーはデザインをしていてるのが楽しい人種だから、みんな仕事が苦にならない。喧々諤々いつも議論しながらデザインをつくりだしていた。

同時に「デザイン専門学校で「広告」と「CGデザイン」を教えていた。学生にデザインを指導することは大変!だが、これは意義あることだと思ってる張った。

なぜ大変なのか? それは、仕事上のスタッフには共通認識が出来上がっていて、その上での新しいアプローチの研鑽で話の目的地向かって進む。

進む。

だが、学生には経験で獲得する共通認識がまだない。「それ、ちょっと違うよね」では通じない。なんと「言っていないかとても悩む。ようやくわかってもらえ、良い表現ができた時はこちらもとてもうれしい。学生同士は「ちょっとヤバくね?」で通じているの!!

そんなに勘がいいのなら、こつちの言うことも分かれよ!

●「デザイン」って?

一年生前期の「メディアデザインの基礎」という講座で、最初に「デザインとは?」という項がある。ここで僕は「デザインは計算づくの表現」と強く訴えている。みんな自分の表現したいことが優先すると勘違いしているからだ。違うよ! デザインは伝える目的によって様々な技術があり、その技術にオリジナルの発想が加わり、目的を達成することができるもの。アートとの違いはそこにある。(でも、アートこそ人間が人間たる最高の表現だと思ってる。)

●デザインには「二つの脳」が必要

まず、ひとつめの脳は計算する「プロデュース脳」。例えば広告のデザインを考えるとき、最初にクライアントと商品のことを徹底的に研究する。またライバル商品と比べいろいろな面から優劣を判定する。次に販売対象の設定をする。条件を絞り、対象になる層の好み、消費マインドなどを調べる。そこで「何を訴えるべきか」(コンセプト)を決める。次に、今までの経験から「どのように訴えるか」(アプローチ)を決める。ここまでが冷静な計算脳。

ようやくふたつめの「クリエイティブ脳」の登場。今までにあったような発想ではとても使えない。コンセプトとアプローチを脳に注ぎ込み、それをシェイクしてアイデアをしぼり出さなくてはならない。ここからアーティストとしての仕事が始まる。簡単ではない。発想のオリジナリティー、表現力の豊かさがとても重要になる。美しくおいしいカクテルは簡単にはできない。いっしょにデザインを楽しみましょう! 大丈夫! ふたつの脳はみんな持っています。



林 雄一郎

学部
学
ア
メ
デ
イ
ア
メ
デ
イ
ア
学
部
情
報
メ
デ
イ
ア
情
報
教
授

着任の「あいさつ」

この4月に着任しました。担当する講義は、教職科目(教育課程論、生徒指導、数学科教育法、教育総合演習、教育実習)それにビギナーズセミナー、通信教育の教職科目です。専門分野は生徒指導・教育相談、学習指導、数学教育、学校経営・教育課程です。

野幌の広大な森に隣接した豊かな自然の中で、教育施設・設備も充実し、力量と経験豊かな教授陣を抱え、教育と研究、地域貢献に実績のある本学で勤務できるのを嬉しく思います。建学理念の実現を目指し、教育研究への弛まぬ実践を教員・職員が一体となって進めている本学で、非力ながら何がしかの貢献が出来ればと考えております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、以下自己紹介と学生の皆さんへ期待していることを述べたいと思います。

私は1968年、理学部数学系の学科を卒業しました。当時、日本の情報産業は米国の後追いながら興隆期にあり、金融界やコンピュータメーカー、計算機センターなどでプログラマーやSEの需要が急速に高ま

っていました。こうした中で入社したのは、パターン認識技術を生かし日本初の郵便番号自動読み取り装置を作った総合電機メーカーです。最初、IC自動設計システム(CAD L I C)の開発プロジェクトに参加しデータマネージメントシステム開発に従事しました。その後はAI用ソフトのムプランナーの開発、連想記憶モデルの研究開発、導出原理に基づく定理証明処理系を応用したプログラム自動作成など、AIやプログラム理論(M T C)の研究をしていました。研究開発と先行研究把握のため技術論文読破など多忙な毎日でした。現在使っているパソコンがまだない時代で、大型機によるT S S 端末か中型機、ミニコンが開発の武器でした。

三十歳になる頃、体を壊したことから心機一転、教育界への転職を決心しました。「産業界から教育界」への大転換でした。爾来、三十二年間退職するまで教育界に在職することになります。教員の十年間は師弟同行の教育実践の毎日で、授業や部活動など生徒との喜怒哀楽の懐かしい思い出に彩られています。教育

という営為と真剣に向き合いながら、理論と実践をどう調和させ指導に生かすかに奔走し数々の試みも試行錯誤の連続でした。しかし、その中で自らの人間力が試され、鍛えられ成長できたと考えています。

次の十年は教育行政機関と学校の出入りの時代です。印象深かったのは四十代後半、新しい高校(札幌国際情報)づくりに参画したこと。これは夢のある、しかし多難な仕事でしたから、現在の同高校の発展した様子には感慨もひとしおです。

五十代前半は、北海道立教育研究所で生徒指導や教育相談を研究し、相談業務にも従事しました。不登校やいじめが多発した頃でしたから、教員研修でどのように教員の指導力を高めるかが喫緊の課題でした。また、教員にとつて実践と研修は一体でなければなりません。その支援方策を研究しました。

五十代後半は、校長として学校経営を行う立場になり、地域に密着した特色ある高校づくりをどう進めるか全身全霊を打ち込むことになりました。赴任した学校での多くの生徒、教師、父母、地域の人々との出会い

など、多くの貴重な経験をする事になりました。六十代は大学人として、これまで身に付けた経験知や知識・技能を活かしながら教員養成の仕事に従事しているところです。

学校教育のICT化は、現在進行していますが道半ばです。情報に関する幅広く深い知識・技術を学校経営や教材開発などに積極的に活かす力量ある教員が求められています。本学の多くの学生がこのような教員に挑戦するよう心から期待しています。

など、多くの貴重な経験をする事になりました。六十代は大学人として、これまで身に付けた経験知や知識・技能を活かしながら教員養成の仕事に従事しているところです。



松田 成司

経営情報学部
情報科学科
准教授

「職業」って

松田成司です。四月から医療情報学科に着任しました。といっても昨年後期には一年生の講義を持っていたので馴染みの方もいるかと思えます。簡単ですが自己紹介したいと思います。私は生まれも育ちも札幌で「パイロットになる」という平凡な夢をもった子供でした。子供の頃の夢叶わず、大学では工学部で応用物理を勉強しましたが、もう少し物理をたくて大学院では生体工学を専攻しました。生体工学は当時(今でも)一般的ではなく尋ねられたら、本当は「生体を工学的に解明するという学問」もあるのですが、「医療機器の開発に関する学問ですよ」と説明していました。大学院での研究内容は患者の遠隔計測であり、ちょうど当時運用が始まった救急救命士のためのシステム開発・検証を行っていました。大学院の卒業後は多くの同級生が研究職に就くなか「工学部を出たら工場で作らないといけない。」と思っており、一般企業に就職しました。就職先は国際電気という通信機メーカーでした。会社では普及途中の携帯電話が地下等でも使えるような設備開発を行いました。

華やかな携帯電話端末開発に比べて(地下用設備です)まさに陽の目を見ない、地味な箱の設計でしたが、今でもその設備が使われていることを考えるとやりがいのある仕事でした。企業ではなかなか論文は書けません(社内の手続きが面倒)でしたが特許はかなり書くことができたと思います。この頃は「高周波回路設計者」「光伝送路設計者」というのが私の職業だったと思います。そうこうしているうちに景気が悪くなり会社も工場を閉鎖することになりました。そのまま会社に残ることも考えたのですが、今一度「世の為になる」仕事をしたいという気持ちになり、教育の世界に足を踏み入れることにしました。なかなか教育と言っても出来ること、出来ないこと、やらせてもらえることも出来ないことがあります。結局大学の専攻が生体工学だったこともあり医療系の国家資格である臨床工学技士の養成専門学校である吉田学園医療歯科専門学校を立上げから行い、またそこで実際に教員をしていました。

さて本題の「職業」についてですが、私は日本的な表現だと「会社員」↓「団体職員」↓「団体職員」とその就業先の形態を示すことになりま。就職と書くことと職に就くのかから本来は、技術職だとか事務だとか秘書といった職に就くことを意味すると思うのですが、例えば外国の国カードの occupation 欄には company employee と書くよりも engineer とか secretary として書くと思います。どうも日本人は就職 II 就社の意識が強いようです。この考えは個人よりも企業の力が強い日本では間違っていないと思います。本当にそれでいいのか?と書いています。これは職業観の問題なのですが、会社のために仕事するのではなくて、「仕事」に対して誠実に対応することのほうが会社にとって多い分に対してプラスになることが多いと思うのです。この場合の「仕事」というのは当然会社も含めませんが、自分・顧客さらに社会を含めての「仕事」という意味です。つまり与えられた業務をこなすことよって会社に貢献するよりも、多少回り道でもコツコツと自分の仕事に誇りを持って行うことにより将来自分にプラスになるし最終的には会社にもプラスに

なると思うのです。もちろん大変かもしれませんが、きつとそのほうが楽しいのではないかと思うのです。さて北海道情報大学の私の仕事は多くの学生の皆さんが就職するであろう民間企業出身として仕事なり、職業観について伝えていくことだと思っております。講義は機器(ハードウェア)に近い内容のものが多く慣れない方には難しいかもしれませんが、大学での勉強は高等学校や専門学校と違い学生本人が自主的にやるものです。そのきっかけをつくり手伝いをするのが私の仕事だと思っております。

学生の皆さんとともにこの大学で過ごせることを楽しみにしております。



森川 悟

情報メディア学部
情報メディア学科
講師

ゲームと数学の密接な関係

ゲームプログラムを教えています。森川です。この四月より情報メディア学科に着任しました。私は、大学を卒業後ゲーム制作会社へ就職し、そこでテレビゲーム作りのノウハウを学び、フリー&専門学校講師を経て現在に至っています。

ゲームと学問の結びつきを考えると、その関係は希薄です。むしろ、相反するものだったりします。テストの時期、学生の口からは「勉強しないでゲームする」という言葉を頻繁に聞くことができますが、ゲーム業界と教育の両方に軸足を置く身としては、誉めていいのか怒っているのか、迷うところです。一見して、水と油のようなゲームと学問の関係ですが、ゲームのプログラムを眺めてみると数学、物理が満載なのに驚かされます。市販のテレビゲームをとって見ても、年を追うごとにキャラクターの見栄えは写

図1



図2



図3



図4



図5



図6



实的に、動きは現実的になってきています。キャラや背景を写実的に表示するには数学的な知識は不可欠、リアルな動きを再現するのに物理は不可避です。ゲームプログラマーになるためには、数学・物理とうまく付き合う必要があるのです。

図1をご覧ください。これは、もっとも簡単な3Dモデルです。単に3Dモデルを表示するにしても、三角関数、幾何、ベクトル、行列の知識は必須です。少し手を加えてみましょう。光源を設けます(図2)。光源処理においては転置行列が役立ちます。光源を設置することで、影ができ3Dモデルに立体感が増します。光が当たっている部分と影の部分とで2値化を行ってみます(図3)。

いわゆる、トゥーンレンダリング(アニメ塗り)です。これは面法線と光源の内積をとってあげることににより実現しています。面法線は面を構成する頂点より外積を取り、算出します。面法線とは面の向きを表すベクトルです。

輝度を高め、輪郭線をつけてみましょう(図4)。一見してイラスト風の見栄えになりました。輪郭線も内積を利用します。面法線と光源で内積を取り、角を得ます。この時の角が、ある数値以下ならば描画とすることで輪郭線になるのです。

白黒塗り+輪郭線+影の斜線化としてみましよう(図5)。マンガ風に表示されるようになりました。マンガと違うのは、このキャラクターを動かせるという点です。

白黒塗り+輪郭線+色鉛筆塗りとしてみましょう(図6)。これだけ手を入れると、3Dキャラだということとを忘れてしまいそうです。単純に色鉛筆塗りと言ってはいますが、コンピュータにそういう機能があるわけではない、色鉛筆風に描画できるように計算式を考え、処理させる必要があります。複雑な計算式を要する処理なのですが、描画されたものを見るとおおよそ数学とは縁遠いものにも思えるのが不思議です。

数学というと、得体的にない記号が多く表記されなじみにくい科目ですが、ゲームを活用すると親しみやすくなるので不思議です。

私の専門はテレビゲームです。本学においても、ゲーム作りを通して難しいことを難しいと思わせたくないような講義を行いたいと思っております。

事務局長に就任して

事務局長 近藤 始



大学は教育の場と言うことで、学生と教員がもちろん主役です。しかし、大学という大きな組織を運営していくためには協役も必要です。事務局はその協役の組織と言うことになりました。事務局は、学生の皆さんが安心して学修できる環境の提供や、教員にとって効果的な教育ができるようにサポートしていくための仕事をしています。

昨今、大学を取り巻く環境は大変厳しいものとなっており、どの部署においても改革が求められています。また他方では学士力の確保も併せて求められています。事務の効率や経費削減を求めただけの改革では、サービスマスや教育効果の低下を招くだけで、人材育成という大学としての大きな目的を達成することはできません。このような観点から事務局の業務についても、足下をしっかりと見据えて改革を進めていきたいと考えています。

ここで改めて事務局の業務を紹介いたします。

〔学生サポートセンター・学習支援センター〕

学生の皆さんが一番よく利用するセクションです。サポートセンター

という名称が表すように、様々な支援をここでを行っています。奨学生に関する申し込みや相談、アルバイトの紹介、住居や寮に関すること、一番重要な就職支援を行っています。大学内で相談したいことがあれば、まず学生サポートセンターが対応します。

また、今年から学習支援センターも学生サポートセンターの中に入りました。資格取得に対する支援、ピアサポートルームの運営、学生チュータによる学習支援、各種学内コンテストについても学習支援センターで行っています。

〔国際交流・留学生支援室〕

本学も留学生が大変多くなってきました。このセクションも月に発足したばかりですが、留学生の方にとってはなくてはならない部署となりました。ビザの取得や更新、留学生を中心としたイベントと日本人学生との交流、住居や日本における一般的な生活を含めて留学生の人に支援しています。留学生の人と話したいと思っている人は一度「国際交流・留学生支援室」まで遊びに来てください。

〔図書館〕

学生にとってはなくてはならない「知の宝庫」です。従来は「本を探しに来る」、「静かな所で勉強したい」という場所でしたが、最近の図書館は学生の皆さんに積極的に働きかけを行っています。

二年前には「図書館賞」を創設しました。昨年からは「ブックハンティング」という試みを行い、今年も実施しています。閲覧室の一部にはパソコンを用意しました。現在計画中ですが、「ラーニングコモンズ」と呼ばれる場所も秋には開設できる予定です。

また、来年の夏までに図書館はeDCタワーに引っ越し、現在の倍のフロア面積になります。そこにはグループ学習も可能な場所もできる予定です。是非期待していただきたいと思います。

〔教務課・大学院課〕

学生の自分は勉強すること、ということやカリキュラムや成績に関することは教務課で行っています。大学院の学生は大学院課です。学年歴の計画、時間割の作成、休講時の振替授業の設定、学生の成績管理などが主な業務で、進級や卒業を判定するデータも教務課

で作成します。

四年生に進級した学生の単位取得や履修状況をチェックして、卒業見込みの可否についての判定資料も作成します。進級・卒業で心配事のある学生は一度教務課を訪ねてはどうでしょう。

成績に関すること以外に、大学としての社会活動の一つである「公開講座」も教務課で行っています。

一般市民の方を対象とした講座ですが、学生も受講は可能です。しかし、単位にはなりません。

「情報センター」

大学内のIT環境の新設・保守を一手に引き受けています。学内ネットワーク管理、公式ホームページ、学生ポータルサイト、教職員のポータルサイト、実習室のマシン・ソフトウェア管理などです。

OSやオフィスはキャンパスアグリメントの契約をしているので必要な方は情報センター事務室に相談してください。

「広報室・入試課」

入学前に必ず関わったことのあるセクションです。学生募集のための広報

と入学試験を行う入試課です。入試はAO入試、推薦入試、一般入試、大学入試センター試験利用入試、留学生対象入試、情報メディア学部編入試験等があります。

「総務課・会計課」

総務課、会計課は学生の皆さんからは少し距離のあるセクションです。

総務課は大学の運営に関わる連絡調整的な役割を行っています。大学の運営は直接的には教授会や各種の委員会です。色々なことが決定され実行に移されますが、教授会や委員会の開催を陰で支えているのが総務課です。また、外部から見た時の大学窓口にもなっています。

会計課はその名の通り大学の経理事務を担当しています。大学を運営していくためには学生の皆さんの学費が一番重要ですが、それ以外にも、国などから支援を受けています。また、先生の研究に対しても各種の団体から資金的な援助を受けて研究を行っています。これらの申請、運用・報告も会計課で行っています。学費を滞納すると会計課から督促が来ますので注意してください。

「通信教育部」

本学には経営情報学部にも所属する通信教育部があります。通信教育部には、従来の通信教育と同じ形態の正科生A、全国の専門学校と併修を行う正科生B、教員免許取得を主な目的とする科目等履修生の制度があります。通信教育部事務部は、これら通信教育部生のために入学から卒業までのすべての事務的な手続きや支援を行っています。

教職課程を選択している学部生の皆さんが卒業までに「教員免許」が取得できない場合や異なる教科の「教員免許」を取得したい場合には、通信教育部の科目等履修生になって取得することが可能です。

以上大学事務局の各課やセンターの業務について紹介してきました。

どの部署も必要な所ばかりですが、これからも、学生サービスや満足度の向上、そして教職員が楽しく職務を遂行することができる環境作りを忘れず、前向きな改革を進めて行いたいと思います。

YOSAKOI ソーラン祭り

2010.6.9~6.13



4年連続

ファイナル進出 優秀賞受賞!!

伝説を刻む第19回YOSAKOIソーラン祭り

YOSAKOIソーランサークル 部長
情報メディア学科 3年 岸 浩太郎

私たちYOSAKOIソーランサークルは、今年も例年参加しているYOSAKOIソーラン祭りに参加してきました。

今年は28人という大勢の新入部員を迎え、総勢60名の部員が一丸となり本祭という大舞台上で演舞することができました。

今年も恵まれた天気と観客の声援のもと、最高の笑顔と最高の踊りをする事ができ、念願の4年連続ファイナル進出という快挙を成し遂げることができました。

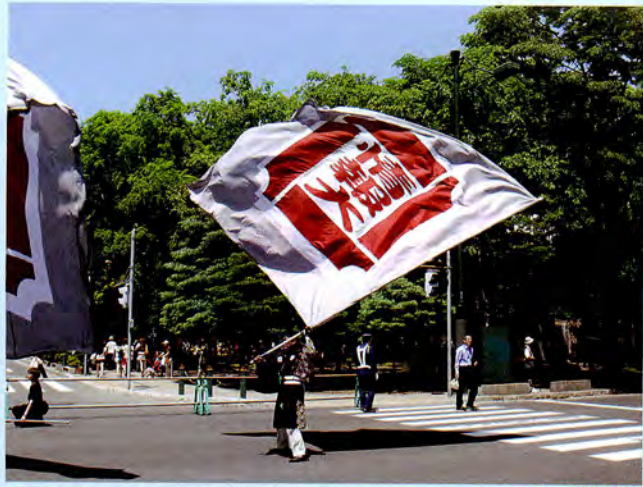
ファイナルへ出場が決まったという報告があったとき自然と涙が込み上げてきました、この本祭という舞台を仲間と共に立つことができ、嬉しく思います。

私たちを支えてくれた皆様、心から感謝を申し上げたいと思います、本当にありがとうございました。

今後も支部大会をはじめ各地のお祭りなどに参加し、みなさまに感動を届けたいと思います。



第19回



第20回

体育祭



2010.6.18(金)~6.19(土)

さあ、スタート!

女子の参加も多いバドミントン



フランクフルトも体育祭の定番アイテム

20th
体育祭
2010

スタッフも、戦いはこれから



ギャラリーも期待の笑顔



20th
体育祭
 2010



セーフ？アウト？

本番に備えての練習？



ピース、ではなく、スタッフ間のやりとりです

実行委員長あいさつ

こんにちは、体育祭実行委員長の斎藤昌幸です。今年は一泊二日のうち、二日目が土曜日の開催となり、例年とは少し違う形での実施となりました。

当初は、競技への参加チームが集まるのか不安を抱えてのスタートで、当日は、軽い熱中症などの方もいたりしましたが、両日も曇一つない大変気持ちのいい天気の中で行うことができました。

競技に参加して頂いた学生の皆様、教職員の皆様、暑い中、本大会の様子を撮影していただいた多田ゼミの皆様、第20回体育祭にご参加していただき大変ありがとうございました。



女子バレーボールはいきなり決勝戦？

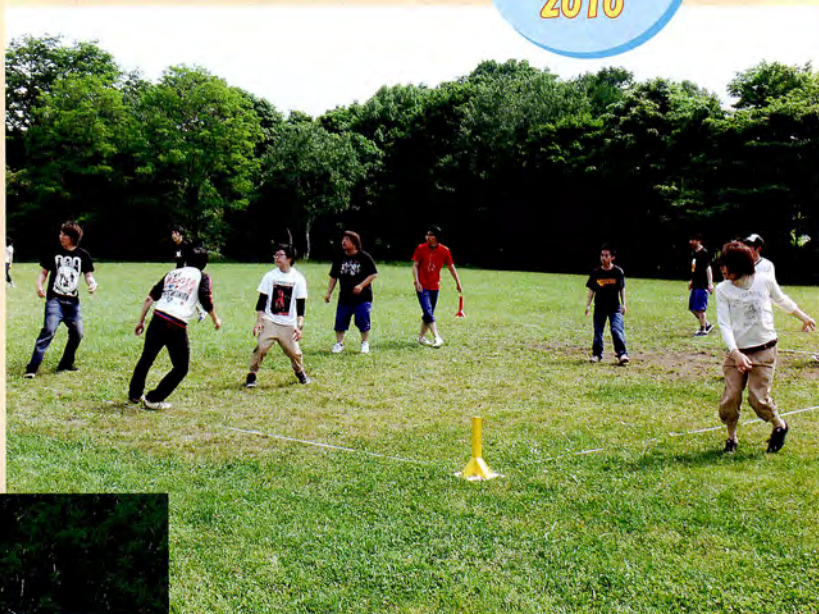


人気が高かったストラックアウト

今年はW杯の影響でサッカー熱も例年以上？



20th
体育祭
2010



野球大国日本、ソフトボールは根強い人気



ドッジボールは先生方の参加も



ギャラリーの応援も大切な“カ”

保護者の会 役員会を開催



平成22年度第一回北海道情報大学保護者の会役員会を、5月27日(木)、江別コミュニティプラザ「あおい」において開催いたしました。

最初に長谷川学長から保護者の会に対するお礼を含め挨拶があった後、平成22年度新規役員候補者6名、欠員となっていた一名の推薦がなされ、全員が異議なく承認されました。

次いで大学からの現況・行事等の報告として、中居常務理事から大学の沿革、育成する人材、教育環境の背景、大学の構成及び学部構成、eDCタワーの建設について説明があり、中村就職部長から平成21年度卒業生の就職状況、平成22年度の就職指導スケジュールについて、三浦学生部長から学生生活の支援について、学生サポートセンター事務室から平成22年度の学生生活指導に係る行事についての報告がなされました。

役員会終了後の懇親会においては、保護者の会役員と本学出席者との間で、学生生活等に関して率直な話し合いがなされました。

役員の皆様には、ご多用中にもかかわらずご出席いただき、貴重なご意見を賜りましたことに感謝申し上げます。

(学生サポートセンター事務室)

勝敗表もより見やすい工夫が...



20th
体育祭
2010

皆さんお疲れさまでした



暑さとも戦うスタッフたち

留学生、春の宿泊研修報告(滝野・青少年山の家)



積丹半島の広場

平成22年6月5日
(土)～6月6日(日)、
留学生と日中異文化
研究サークルの学生、
引率教職員の総勢五
十三名が滝野すずら
ん丘陵公園、青少年
山の家で宿泊研修を
行いました。

連日、晴天に恵ま
れました。初日は積
丹半島まで足を延ば
し、神威岬からのす
ばらしい景観を楽し
むことができました。
この日は札幌でA P
E Cの国際会議が開
催されており、警備
の影響か、宿泊先へ
の到着が多少遅れましたが、入
館式で係員の「来たときよりも
美しく」のことばをしつかり受
け止めて山の家での合宿が始ま
りました。

夕食までの時間を利用して、
自然に囲まれた山をの周囲を
皆なで散策しました。
午前は碧い大海原、午後は森林
浴で心身ともに癒されました。
夕食後は体育館で大縄跳び、



野外炊事

バスケットボール、ドッジボ
ール、インディアアカなどのスポ
ーツで思いっきり汗を流し、日頃
のストレスを発散させていま
した。

汗を流した後は皆で大浴場に
入り、裸同士での楽しい会話が
弾みました。

翌日は六時三十分起床、朝の
つどい、朝食のあと各自の身辺
整理、寝具の片付け、部屋掃除、



体育館でインディアカ

トイレや洗面所清掃などを皆で協力して行いました。その後に係員の清掃点検を受け、合格するまでやり直しの指示を受けるなど、貴重な体験をすることができました。公共施設ではいつも次に利用する人達のことを考え「来たときよりも美しく」のこぼを実践しました。

この日のお昼は野外炊事でカレーライスや焼きそば作りを班に別れて行いました。

野外炊事を初めて体験する学生が多く、日頃、何気ない当たり前の食事でも自分で水加減や火加減を調整しながら作った食事は格別の味がしたようです。



神威岬でお弁当

薪割りや火おこしも珍しそうに楽しんでいました。

食事の後は皆で後片付けを協力して行っていました。鍋底の煤取りに苦労していたようです。

留学生にとっては団体での共同生活を通して公共マナーやルールを守ることの大切さなどを再認識する研修になりました。

また、引率者としては好天に恵まれ、怪我もなく無事に宿泊



メニューはカレーライス

研修を実施することができほっとしています。

一泊二日の宿泊研修で学生たちと一緒に生活することで、普段の学校生活では見えにくい彼らの行動や表情を発見することができ、今後の留学生の生活支援に役立てていきたいと思えます。

(国際交流・留学生支援事務局)

留学生の企業見学

外国人留学生委員会委員長 竹内 典彦



6月24日木曜の午後、私と留学生支援室の今長室長と小黒さんは、留学生十三名を引率して、札幌市内中心部の北洋銀行と北海道チャイナワークを訪問しました。日本語の習熟度が要求される活動ですので、今回見学した留学生は、大学院生と四年生の中から希望者を募集しました。

そもそも今回の企業見学は、札幌商工会議所が編集した留学生の企業就職の冊子を参考にして、元留学生が就職している職場を訪ね、その業務内容や経験談を聞かせていただくことと企画しました。なお札幌商工会議所の高橋様には、実際に企業との仲介

をとつていただきました。最初に訪れた北洋銀行では、国際部国際課の矢嶋課長と中国デスクの王さん、栗山さんが対応していただきました。北洋銀行の沿革、国際部の業務の様子、中国における展開の様子等を学ぶことができ、貴重な経験を

きたと思います。王さんからは、中国語を交えて就職のときの経験を話していただき、留学生にとつてはたいへんよい刺激となったようです。

次に訪れた北海道チャイナワークでは、最初に張社長による会社の事業内容の説明がありました。一人で中国語教室から会社を立ち上げた張社長の努力と工夫に一同感心しました。特に「日本に五年住めば日本のことがよくわかり、中国に帰りたくなくなります。」とユーモアを交えて語っていたのが印象的でした。

その後、郎さんからは、日本の文化や習慣に関するレクチャーがありました。誠実にお話を準備していただいたことも伝わり、私たち引率者もたいへん勉強になりました。

おかげさまで、初の試みであった企業見学ですが、たくさん収穫を得ることができ、成功を収めることができました。今回お世話になりました、北洋銀行様、北海道チャイナワーク様、そして仲介の労をとっていただいた札幌商工会議所様には心から感謝しております。ありがとうございました。

王 清

今回、二つの会社を見学に行ったのはよい体験だったと思う。

北洋銀行で、中国人社員王さんからいろいろ教えていただいた。外国人として留学生は日本でどのような仕事を探せるか、

日本の職場でどのようにすればうまくいくのか、社会人として何が一番重要か、などいろいろ勉強した。北洋銀行はとてもいい会社だが、社員選考の基準についても知ることができた。現在就職を希望している私にとつて、それは大事な知識だと思っている。

北海道チャイナワークで、張社長は創業の過程を説明してくれた。一人で外国に会社を作ることは、私にとつては不可能なことである。しかし張さんにはできた。とても感心した。そのあと、すでに二年間仕事を続けている郎さんの職場経験を聞いた。日本人はどういうことを大事にするか、私たちは何をしなければならぬか、等を一つ一つ詳しく説明してくれた。

たった二時間の見学ではあったが、いろいろな勉強をした。日本の会社の中国人社員と初めて間近に接して、私はこれからの日本での生活や就職に自信を持つことができたと思っている。

曹 蘇華

経営情報学科所属の学生として、企業の経営の現状と今後の方向性を知ることがとても大切だと思う。

就職活動以外で、初めて企業を見学する活動に参加できた。見学を有意義にするために、事前に北洋銀行の資料を調べた。当日の交流会では、担当社員が北洋銀行の経営と市場開拓の現状及び海外事務所の設立について詳しく説明してくれた。



企業見学アンケート (6/29現在)

Q 1. 今回の企業見学はどうでしたか？

- | | |
|--------------|---|
| A 1. とてもよかった | 4 |
| 2. よかった | 2 |
| 3. 普通 | 0 |
| 4. あまりよくなかった | 0 |
| 5. とても悪かった | 0 |

Q 2. 2社を見学しましたが、もっと多くの会社を見学したかったですか？

- | | |
|-----------------|---|
| A 1. もっと多くみたかった | 3 |
| 2. ちょうどよかった | 2 |
| 3. 1社でよかった | 1 |

Q 3. 1社あたり1時間くらいのスケジュールでしたが、時間はどうでしたか？

- | | |
|---------------|---|
| A 1. もっと長くてよい | 1 |
| 2. ちょうどよい | 4 |
| 3. もっと短くてよい | 1 |

Q 4. 企業見学は1年に何回くらいあればよいですか？

- | | |
|--------------|---|
| A 1. 2回かそれ以上 | 5 |
| 2. 1回 | 1 |
| 3. なくてよい | 0 |

Q 5. 今回は、留学生出身の人が勤めている企業の中から、銀行とコンサルティング等多角的経営の会社を見学しましたが、この選択はどうでしたか？

- | | |
|--------------|---|
| A 1. とてもよかった | 2 |
| 2. よかった | 3 |
| 3. 普通 | 1 |
| 4. あまりよくなかった | 0 |
| 5. とても悪かった | 0 |

Q 6. 今後見学するとしたら、どういう業種の会社を見学したいですか？

具体的な会社があれば、最後に書いてください。

- | | |
|--------------------|---|
| A 1. IT系 | 3 |
| 2. 旅行業者 | 3 |
| 3. 販売業 | 4 |
| 4. ホテルや観光産業 | 3 |
| 5. 銀行等金融関係 | 3 |
| 6. サービス業 | 3 |
| 7. その他 牧場、具体的会社名なし | |

Q 7. その他感じたことがあれば書いてください

- A.
- ・目的地までの時間が長くて疲れました。
 - ・銀行での話しは（留学生として先輩）の就職経験談を聞くことができとても良かったと思います。コンサルティング会社での話しはいつものような話（一般論）であったのであまり役立っていません。（特に有益とは思いませんでした。）
 - ・とても良かった。もっと参加したい。

私は国際間での現金の振り込み業務について質問した。振り込み業務の複雑な手続きが存在する理由などがよく理解できた。その後、北洋銀行で働いている先輩の経験を聞いた。日本の企業は人材を採用する時に、学生の専門分野はそれほど重要な条件ではない。私たちは自分の能力をもっと磨いて、知識を広くする必要があると思う。当日は北海道チャイナワークも見学した。社長のビジネス経験を聞くことができて、よい経験になった。

まとめると、企業見学は本当によい機会だと思う。今回はいろいろなことを勉強できた。陸コン
今回、札幌の北洋銀行と北海道チャイナワークの二社を見学しました。とても勉強になりました。北洋銀行では銀行の概要と先輩の仕事の体験を聴きました。本当に勉強になりました。先輩は、様々な経験を話してくれました。たとえば相手にいい印象を与えること、相手に信頼してもらうことなど、本当に役に立つことです。社会でも会社でもいい印象と信頼感が必要だと思います。

先輩の話を聞いて、これからは自分のことを見つめなおしたいと思います。北海道チャイナワークでは、張社長が会社の創業の過程を紹介してくれました。聞いて感動しました。もう一人の郎さんは、自分の留学経験と、日本の職場における習慣や考え方について教えてくれました。留学生にとってたいへん役に立つ知識でした。まとめると、今回の見学はとても良かったと思います。短い見学でしたがとても有意義でした。授業の中で勉強できないことを学びました。

「第二回 留学生の日本語弁論大会」を

終えて

情報メディア学部 准教授 飯嶋美知子

去る6月12日(土)、「第一回 留学生の日本語弁論大会」が行われました。YOSAKOIソーラン祭りもある週末であるにも関わらず、会場は多くの来場者で賑わいました。

本学の留学生は、大学院も含め六十名以上にものり、年々増え続けています。本大会は、留学生の日本語力を向上させるとともに、日本文化への関心を深めてもらうため、そして、留学生の日本語力や活動状況を教職員及び学生の皆さんに知ってもらうことを目的に開催されました。

発表者は、情報メディア学部の四年生十二名と、大学院生五名でした。五分間の発表のあと、審査員からの質問に答えるという形式で行われました。学部生の部の最優秀賞は、「日本で楽しい生活をしましょう!」をテーマに発表した馮瑤さん(田ゼミ)でした。日本の生活について「衣」「食」「住」「行」をキーワードに語り、「現在は就職活

動に励んでいる。失敗が続いている。結果よりも行動することが重要だ」という、積極性にあふれる内容と姿勢が高く評価されました。

優秀賞は、王笑然さん(テーマ「謎」、川上ゼミ)と、楊楽さん(天気とわたしたちの生活)、安田ゼミ)、努力賞は是臻鎧さん(大学のスポーツ同好会―インディアカー)、中岡ゼミ)と、查露さん(「中国のお茶」、大島(慶ゼミ)でした。

中でも異彩を放っていたのは、「謎」というテーマの通り王笑然さんの発表で、「私は超能力者だ」「ミステリーサークル」「宇宙人は存在する」と、電波系の発言の連続で、聴衆の度肝を抜きました。「私の後ろには佐為がいる!見えないか!?(注:佐為とは審査員長である筆者の愛読コミック『ヒカルの墓』の主人公に憑依した霊)」とアピールし、審査員長の「もしあなたが宇宙人なら、地球人にどんなメッセージがありますか」という質問にも、「2012年に人はすべて死ぬ」という、宇宙的な答えで応じてくれました。

大学院生の部の最優秀賞は、「静かな江別」をテーマに発表した陳楽兵さん(指導教員:浜淵教授)でした。他を圧倒するハイレベルな日本語力と内容で、審査員の質問に対しても、自己の日本語力と知識を余すところなく披露し、「徒然草」の冒頭の暗誦までしてくれました。

優秀賞は陳敏潔さん(日本語と中国語―同じ漢字でも意味が違う)、指導教員:坂本教授)、努力賞は王清さん(私の日

大勢の聴衆が発表に聴き入りました

本人家族、指導教員:高井准教授)でした。陳さんの、「中国銀行」を中国の銀行と勘違いした経験談には会場が笑いに包まれ、王さんの、ホストファミリアのお父さんが突然他界された話には、来場者も涙を誘われました。

惜しくも賞は逸しましたが、介護施設をテーマとした、大学院での研究報告をしてくれた陸埜さん(「私の研究」、指導教員:牟田准教授)、哲学的なテーマを選んだ孫郁さん(「本当の幸せとは何か?」、指導教員:中島准教授)も、大学院生らしい、高度な内容の発表でした。

発表終了後には、国際交流委員長の富士副学長から、外国人である奥様と、ご高齢のお母様とのコミュニケーションの様子を例に、「言葉も大事だが、大切なのは互いを思いやること」という、すばらしいお話がありました。

来場者からは、「留学生の日本語のレベルがよくわかった」「勉強以外のふだんの生活の様子が興味深かった」「個性的なスピーチが多かった」「まだまだ入賞させたい発表者が何人もいた」などの声が聞かれ、「第一回 留学生の日本語弁論大会」は、成功裏のうちに幕を閉じました。

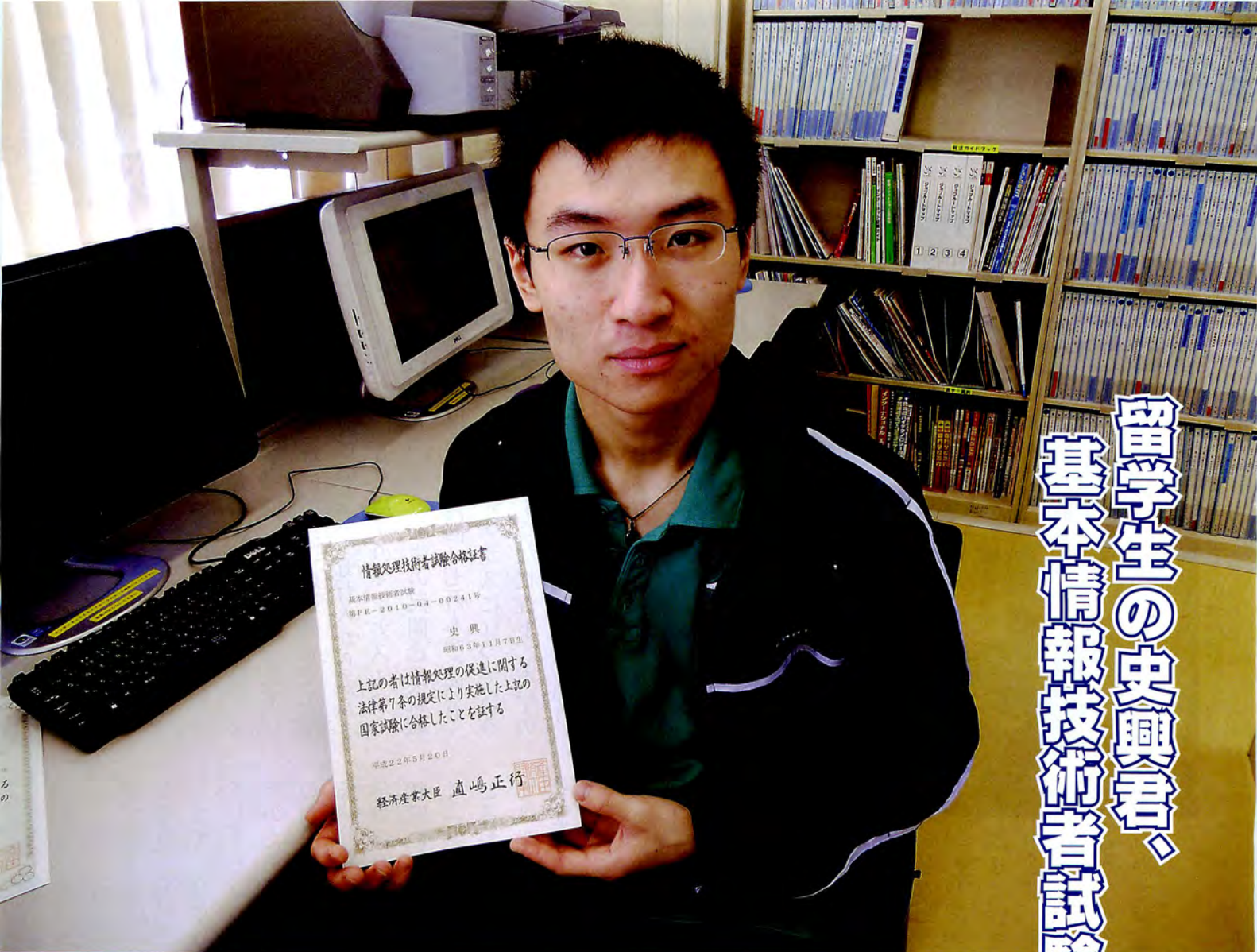
今回、日本人学生の来場者が少なかったのが、やや惜しまれます。これを機に、ぜひ留学生の活動に関心を寄せていただき、次回はより多くの方々のご来場を期待します。



大学院生の部最優秀賞の陳楽兵さん

学部生の部最優秀賞の馮瑤さん

留学生の史興君、 基本情報技術者試験にも合格

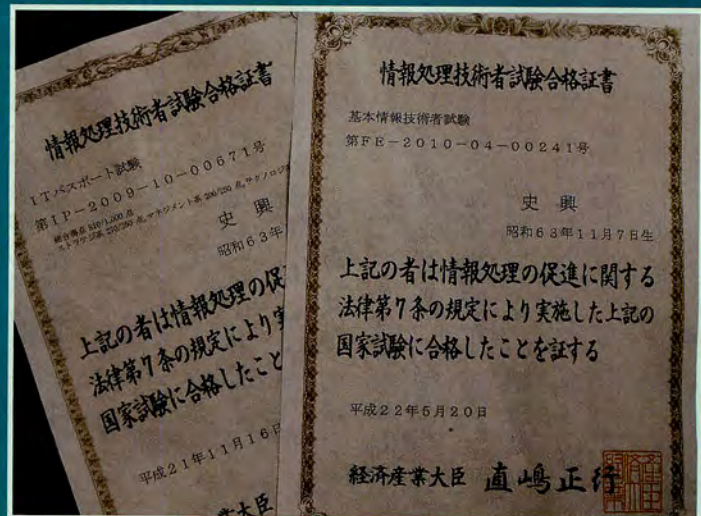


平成22年4月に実施されました、春期「基本情報技術者試験」に情報メディア学部、情報メディア学科の3年生に在籍している留学生の史興(SHI XING)君が合格しました。

史興君は昨年4月に南京大学より本学の2年生に編入学し半年後の10月に実施された情報技術者試験の「ITパスポート試験」を受験し合格しました。そして今回は基本情報技術者試験にも、みごと合格しました。日本への留学が決まる前から日本文化や日本語に興味を持ち、独学で日本語を勉強していたとのことですが、情報処理に関することは本学で初めて学習したそうです。しかも、日本へ来てわずか一年で、合格率が全国平均22%の国家試験に合格したことはとても素晴らしいことです。

「史興君、合格おめでとう！」

(国際交流・留学生支援事務室)





めげずに頑張れ就職活動!

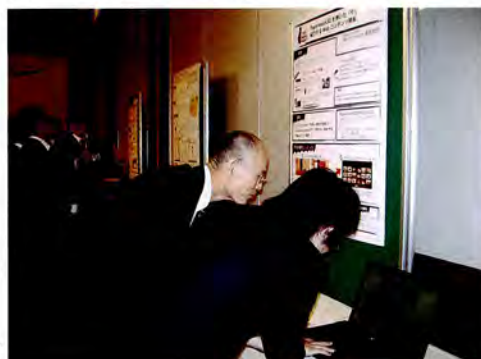
リクルートワークス研究所が発表した、来春卒業予定者の大卒求人倍率は一・二八倍、前年の一・六二倍から低下しました。これは、全国の民間企業の求人総数が前年の七二・五万人から五八・二万人と一九・八%のマイナスになっていること、一方学生の民間企業就職希望者数は前年の四四・七万人から四五・六万人と一・九%プラスになっているからです。このような状況下、本学の四年生の就職活動は非常に苦戦しており、本年度は急きょ7月22日に企業・病院説明会と大学説明会を実施し、多くの学生が参加しました。本学の学生の中には、すでに数十社不合格となっている人もいますが、ここで諦めたら就職

はできません。いつか内定をもらえる信じ、めげずに頑張らしましょう。

さて、今年は例年以上に「自信をなくしている」学生が多いように見えます。そのため萎縮してしまい、面接で本来の自分を出せなかったり、企業の求める人物に無理をして合わせようしたり、学生自身が本来の自分を発揮出来ない状況になっているかもしれません。よく「学生と企業とは対等な立場である」と言われます。そう、就職活動においては学生も選ばれる側ですが、企業も学生に選ばれる側です。自分が将来にわたって働く企業を、自らの目で選んでいるという気概を持って活動していきましょう。

ちなみに、ここで言う業務スキルとは正社員においてのスキルのことです。そう、途中で就職を希望する場合、アルバイトでの業務経験はほとんど評価されません。大学を卒業した後、フリーターになると、その後正社員で就職できる可能性が低くなると言えますので、新卒での就職を目指しましょう。

よって、現在就職活動をしている皆さん、正社員での就職を目指して諦めずに就職活動を頑張らしましょう。そこで、今まで勤務地や業種・職種にこだわって活動してきた人は、



学生によるポスターセッション

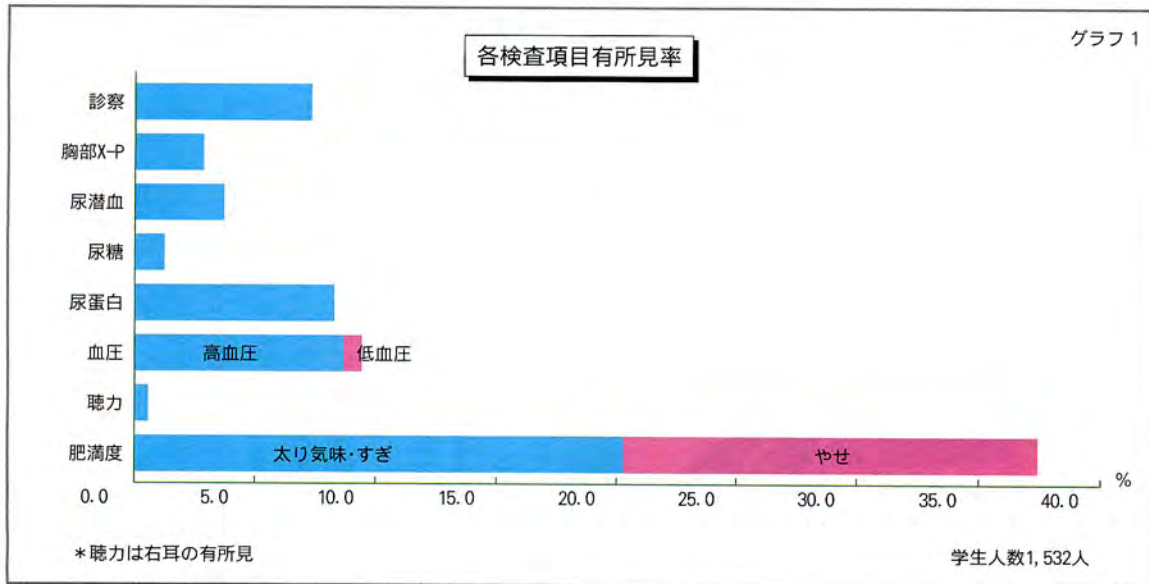
ところで、日本では新卒で就職していただくことは非常に大切なことだと言えます。なぜか、それは新卒と中途の採用では、明らかに採用の基準が異なるからです。新卒には学生時代に一番力を入れたことや将来の夢など、その人の意欲やコミュニケーションなどから可能性を評価して合否を決めます。ところが中途は、現在の程度の業務スキルを持ち、どんな仕事をこなすことができるか、つまり即戦力があるかで評価することが多いです。

正社員で就職するために、もう少し視野を広げてみてはどうでしょうか？ 学生サポートセンター(学サポ)では、求人情報の提供や履歴書作成・面接指導など、就職に関するあらゆる相談を受け付けていますので、あまり利用しなかった人はぜひ来室してください。学サポ職員は皆さんが相談に来て、一緒に悩み、求人を紹介し、その結果就職が決まり喜んでくれることが何よりも嬉しいことなのです。



北海道情報大学主催 企業・病院説明会(上)と、大学説明会(下)

学生の健康状態について



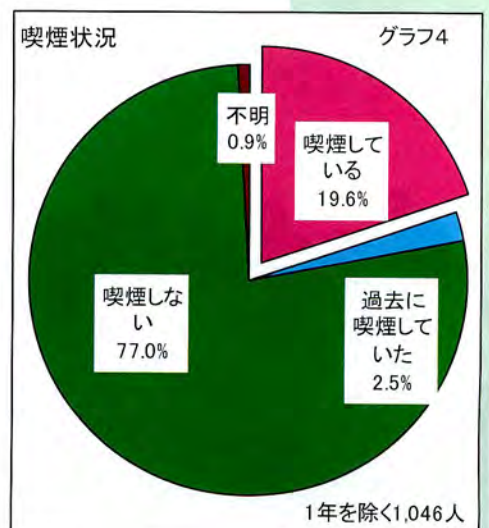
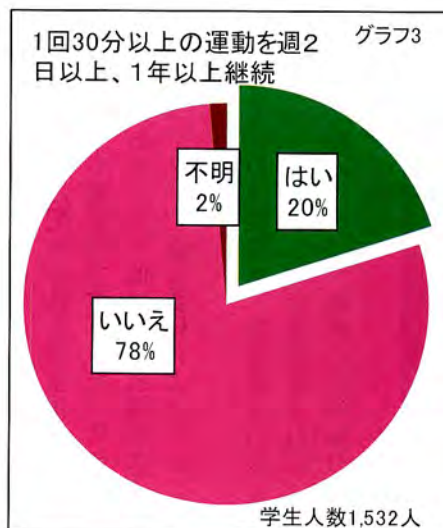
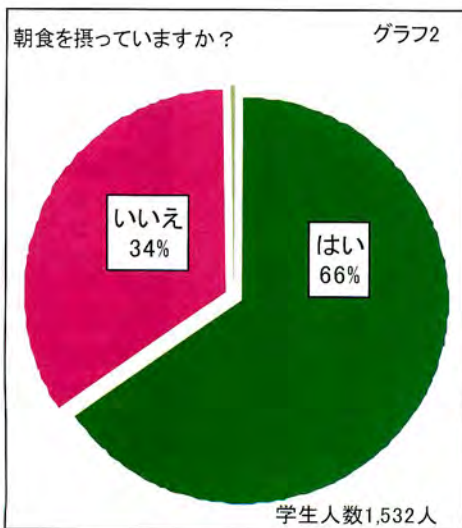
1 平成22年度学生の定期健康診断を4月上旬に実施しました。健康診断項目は身長・体重・視力・聴力・血圧・尿(蛋白・糖・潜血)・診察・胸部X-P(一、三年除く)です。結果については、以下のとおりです。ほとんどの学生が「異常なし」「正常」となっています。「経過観察」「再検査」「精密検査」などの有所見者(率)についてはグラフ1のとおり

2 学生の生活習慣について(食事、運動、たばこ)
 (1)健康診断で肥満度「太り気味」「太りすぎ」は二〇%を占めます。
 過体重(太り気味など)は将来、生活習慣病を発症しやすくなります。自覚症状らしいものがほとんどないため偏った生活習慣によって知らず知らず病気が進行します。最近四十歳以上を対象としたメタボリック健診(特定健康診査)はすっかり浸透してきましたが、若い時からの生活習慣の見直しが大切です。

(2)学生の食事と運動習慣について、健康診断時に保健調査として実施しました。
 朝食を摂っていない学生三四%、運動習慣のない学生七八%となっております。生活習慣病(糖尿病、心筋梗塞、脳卒中など)は日々の生活習慣(食事、運動など)の偏りによって引き起こされる病気です。

(3)たばこの煙は有害物質を多く含みます。がんの発生や血管壁に悪影響をあたえます。
 たばこを吸う人はニコチン依存症(薬物依存)です。禁煙に取り組みをしましょう。

保健センターでは健康に関する相談に対応します。利用してください。



経営情報学部
先端経営学科

長井ゼミ



本ゼミの目標は企業の財政状態を知るための貸借対照表や、経営成績を知るための損益計算書の読み取る力をつけることです。貸借対照表や損益計算書といった財務諸表の読み取りは、社会人として求められる必要スキルの一つです。その証拠に日商簿記検定の受検者は五年前に比べて、約三〇%増加しています。本ゼミの学習で社会人に必須のスキルを身につけることは、社会に出てからも必ず役に立ちます。ゼミでは一年生の必修科目である簿記原理や、二年次必修の会計学を基礎とし、さらに詳しい内容を掘り下げて勉強していきます。

ゼミの進行は会計に関わる資料を基に、ゼミ生が各自に予習をし、調べ上げた内容を発表することで理解を深めます。発表後にはゼミ生からの質疑応答をし、ゼミ生全体のスキルアップに繋がります。会計の用語やルールは細かい内容が多く、しっかりと内容を理解しないと相手に伝えることができません。そのため内容をしっかりと予習し、相手にわかりやすく伝える努力をする。この繰り返しでコミュニケーション能力の向上にも繋がります。現在四年生は国際会計について学び、三年生は会計の基礎を学んでいます。

簿記や会計の科目はそれぞれ専用の知識がなければちんぷんかんぷんです。しかし本ゼミで一つ一つの項目の理解を深めることで徐々に会計スキルや会計マインドを学ぶことができます。わからない内容に出くわしても、ゼミ生や先生と積極的に議論することで問題を解消することができます。企業の状態を客観的な視点で分析する力をつけたい方はどうぞ本ゼミまで(文・高橋弘樹)。

情報メディア学部 情報メディア学科 隼田ゼミ

デザイン・テクノロジーコロポセゼミ

隼田ゼミには、現在、院生三名、四年生八名、三年生八名の計十九名の学生(うち、留学生四名)が所属しています。

デザイン系と技術系の学生が、それぞれの特技を生かして、様々な活動でコラボレーションしています。研究・制作テーマは、メディアアート、Webプログラミング、eラーニング、3DCG、アニメーションや実写映像制作、ユニバーサルデザイン(UD)、グラフィックデザイン、高齢者施設の調査など多岐にわたり、学内外の各種コンペにも積極的に応募しています。今年の一年生に配布された学生生活ガイドブックも、当ゼミ生のUDに配慮した卒業制作です。また、昨年のメディアデザイン展には九作品が選ばれました。他にも、札幌市のプロジェクト学生委員、本学の学習チューター、実行委員、よさこいメンバーなど、何事にも積極的に活動しています。

三年生最初の課題は、ゼミWebサイトの構築です。年度途中の大きな更新を含め、今までに十回程度リニューアルし、年々改良されています。デザイン系・技術系の学生達が共同作業で、教員の無茶振りにもひるむことなく、使いやすい機能やゼミ紹介に役立つコンテンツを制作し、その後の各自のテーマに向けた技術・知識の習得や、チームワークの醸成に役立っています。また、ゼミOB・OGもゼミブログに参加してくれるため、様々なアドバイスを聞けます。

当ゼミは、遊びも一生懸命です!ゼミコンパの他、体育祭・蒼天祭への参加、体育祭演習(練習)、BBQ演習(焼肉パーティーII写真)、花見、展覧会巡り、合宿など、様々なイベントがあります。コンパの二次会は、朝までカラオケがお決まりのコースで、皆、大学生生活を謳歌しています。



HIU Volleyball Club



バレーボール同好会会長 情報メディア2年 熊谷賢二
s0922006@rmme.do-johodai.ac.jp



私たちはバレーボールが好きで同好会を創ってしまいました。高校での経験者は3人しかいませんが、週3回の練習は楽しく、声も出ていていい汗をかいています。我々の目標は第一に日頃の運動不足を解消し、コミュニケーション能力を高めることです。第二に北海道リーグに出場し、結果を残すことです。6月専門学校と練習試合を行いました。6セット中2セット取ることができ、創会1月ほどでまずまずの結果が出ています。ぜひ、バレーボールに興味がある方は見学に来てください。

情報大学 公開講座開始

【問い合わせ・申込先】北海道情報大学 教務課（公開講座担当）
 電話：011-385-4427(直通) / ファクス：011-384-0134(代表)
 E-MAIL: hiukouza@do-johodai.ac.jp
 URL: <http://www.do-johodai.ac.jp/kouza/kouza.html>

講座日程	開講時間	回数	受講料	対象	定員	申込期間
4月24日(土), 5月1日(土), 8日(土)	13:30~15:30	全3回	1,000円	一般	30名	3月29日(月)~ 4月9日(金)
4月27日(火)	18:30~20:00	全1回	500円	大学生以上 一般	30名	3月29日(月)~ 4月9日(金)
5月6日(木), 13日(木), 20日(木), 27日(木)	18:30~20:30	全4回	1,000円	一般	30名	4月9日(金)~ 4月21日(水)
5月17日(月), 24日(月), 31日(月), 6月7日(月), 14日(月)	18:30~20:00	全5回	1,000円	一般	30名	4月23日(金)~ 5月7日(金)
5月18日(火), 6月22日(火), 8月3日(火), 10月19日(火), 11月16日(火)	18:30~20:00	全5回	1,000円	一般	30名	4月23日(金)~ 5月7日(金)
5月22日(土), 29日(土), 6月5日(土)	13:30~15:30	全3回	1,000円	一般	30名	4月23日(金)~ 5月7日(金)
5月29日(土)	10:30~18:00 (休憩1時間30分)	全1回	1,000円	大学生以上 一般	30名	4月23日(金)~ 5月7日(金)
6月3日(木), 10日(木), 17日(木), 24日(木), 7月1日(木)	18:30~20:30	全5回	1,000円	一般	30名	5月7日(金)~ 5月19日(水)
6月20日(日), 27日(日)	13:30~15:30	全2回	1,000円	一般	30名	5月31日(月)~ 6月11日(金)
7月3日(土)	10:30~18:00 (休憩1時間30分)	全1回	1,000円	大学生以上 一般	30名	6月7日(月)~ 6月18日(金)
7月6日(火), 13日(火), 20日(火), 27日(火)	18:30~20:00	全4回	1,000円	一般	30名	6月14日(月)~ 6月25日(金)
7月8日(木), 15日(木), 22日(木), 29日(木)	18:30~20:30	全4回	1,000円	一般	30名	6月14日(月)~ 6月25日(金)
7月10日(土), 8月21日(土), 10月30日(土), 12月4日(土)	13:30~15:30	全4回	1,000円	一般	30名	6月14日(月)~ 6月25日(金)
8月10日(火), 11日(水)	9:30~17:00 (昼休憩1時間)	全2回	無料	小学3年生~ 小学6年生	10名	7月16日(金)~ 7月30日(金)
8月14日(土)	13:00~17:00	全1回	無料	小学校高学年 とその保護者	18組(各組 最大6名まで)	7月16日(金)~ 7月30日(金)
8月25日(水), 9月1日(水), 8日(水), 15日(水)	18:30~20:00	全4回	1,000円	一般	30名	7月29日(木)~ 8月9日(月)
8月28日(土), 9月4日(土), 11日(土), 18日(土) ※8月28日のみ現地学習(バスツアー)	13:30~15:00 ※但し8月28日 のみ13:30~16:00	全4回	1,000円	一般	30名	7月29日(木)~ 8月9日(月)
9月13日(月), 14日(火), 15日(水), 16日(木)	10:00~15:00 (昼休憩1時間)	全4回	1,000円	大学生以上 一般	15名	8月23日(月)~ 9月3日(金)
9月29日(水), 10月6日(水), 20日(水)	18:30~20:30	全3回	1,000円	一般	30名	9月3日(金)~ 9月14日(火)
10月7日(木), 14日(木), 21日(木), 28日(木)	18:30~20:30	全4回	1,000円	一般	30名	9月10日(金)~ 9月22日(水)
10月18日(月), 25日(月), 11月1日(月), 8日(月), 15日(月)	18:30~20:00	全5回	1,000円	一般	30名	9月17日(金)~ 10月1日(金)
11月4日(木), 11日(木), 18日(木), 25日(木)	18:30~20:30	全4回	1,000円	一般	30名	10月8日(金)~ 10月20日(水)
11月13日(土), 20日(土), 27日(土)	13:30~15:30	全3回	1,000円	高校生以上 一般	30名	10月18日(月)~ 10月29日(金)
12月9日(木), 16日(木)	18:30~20:30	全2回	1,000円	一般	20名	11月12日(金)~ 11月24日(水)

本学では、地域貢献の一環として、本年度も江別市と札幌市近郊にお住まいの皆様を対象とした公開講座を実施しております。

本学在学生・卒業生・ご父兄の方もご参加いただけますので、興味のある方は、本学教務課までお問い合わせください。

なお、小学生が対象となっている講座以外はすべて有料となっておりますことをご了承ください。

皆様のご参加をお待ちしております。

No.	講座名	場所	講師
1	英語やり直し塾ー発音・文法・会話からオバマ大統領のスピーチ音読までー	本学	本学教授・竹内典彦 本学准教授・チャールズ・マクラージェイ
2	コンピュータはどこまで進化したか	札幌サテライト	本学教授・角井穆
3	パソコン入門	本学	本学准教授・広奥暢 本学非常勤講師・北島優
4	ベンチャービジネスを学ぼう	札幌サテライト	本学教授・坂本英樹
5	食と健康シリーズ(さっぽろバイオクラスター(Bio-S)・本学合同公開講座)	札幌サテライト	本学教授・西平順
6	3次元コンピュータグラフィックス入門	本学	本学准教授・高井那美
7	人間関係が良くなる教育カウンセリング 1日体験講座～構成的グループエンカウンター入門(春期)	札幌サテライト	本学教授・中村正巳
8	Word初級編	本学	本学准教授・広奥暢 本学非常勤講師・北島優
9	初めてのデジタルカメラ	札幌サテライト	本学非常勤講師・北島優
10	人間関係が良くなる教育カウンセリング 1日体験講座～構成的グループエンカウンター入門(夏期)	札幌サテライト	本学教授・中村正巳
11	ネット社会閑話	札幌サテライト	本学教授・中村忠之
12	フォトショップ初級編	本学	本学非常勤講師・北島優
13	パソコンで季節のグリーティングカードを作っちゃおう!	本学	本学教授・川上正博
14	こどもビデオ編集体験講座	本学	本学准教授・向田茂、安田光孝
15	夏休み自由研究教室～ロボットで理科を学ぼう～	本学	本学准教授・棚橋二郎
16	現代青少年のコミュニケーションの問題性とその対処法 ～教育カウンセリングを手がかりに	札幌サテライト	本学教授・中村正巳
17	地域学講座「ふるさと江別の歴史と文化・再発見」	本学	本学教授・原暉之、立花峰夫 本学准教授・安田光孝 江別市セラミックアートセンター館長・石垣秀人
18	手軽に作るクレイアニメ	本学	江別市出身彫刻家・原田ミドー
19	多読で楽しむ英語	本学	本学講師・田中洋也
20	Word中級編	本学	本学准教授・広奥暢
21	マーケティングを学ぼう	札幌サテライト	本学教授・坂本英樹
22	レベルアップ! フォトショップ中級編	本学	本学非常勤講師・北島優
23	JavaScriptを用いた初級プログラミング	本学	本学講師・柳信一
24	フォトショップ上級編(デジタル一眼レフカメラ)	本学	本学非常勤講師・北島優

学校法人 電子開発学園 平成21年度決算の概要

平成21年度決算が理事会ならびに評議員会で承認されましたので、その概要についてお知らせ致します。学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を示す「資金収支計算書」、経営状態を示す「消費収支計算書」、財政状態を示す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条および学校法人会計基準第4条に定められた規則に基づき作成したものです。

消費収入の部では、大学の学部生増加による学生生徒等納付金の増収、大学の国庫補助金の私立大学等経常費補助金の増収、学生寮寮生の増加による補助活動収入(事業収入)の増収、退職金支給による私立大学退職金財団交付金収入(雑収入)の増収等があり、有価証券の利息配当収入の減少等があったものの、帰属収入合計は3,898百万円で、前年度に比べて72百万円の増収となりました。基本金組入額合計は70百万円で、eDCタワー新築工事設計、大学の学内ネットワーク拡充工事、ボイラー交換工事、教室用機器備品及び受託研究用機器備品の購入並びに専門学校のパイプ-NET II (双方向型遠隔教育システム) 教室用の機器備品の購入、教育研究用ソフトウェアの開発等があり、前年度比16百万円増額となり、帰属収入合計から基本金組入額合計を差引いた消費収入の部合計は3,827百万円で、前年度に比べて55百万円の増収となりました。

消費支出の部では、人件費は1,818百万円で、契約職員の増員により職員人件費が前年度比15百万円増額、大学・専門学校教職員の退職による退職金の

増加により前年度比67百万円増額となりました。教育研究経費は1,344百万円で、大学の受託研究に係る消耗備品等が増額しましたが、光熱水費、旅費交通費、通信運搬費等の経費を節減し、前年度比17百万円の減額となりました。管理経費は644百万円で、学生寮寮生の増加による経費等の増額で、前年度比11百万円増額となりました。資産処分差額は92百万円で、ボイラー取替による除却の増額及び保有する有価証券の評価減等により、前年度比88百万円増額となり、消費支出の部合計は3,930百万円で、前年度に比べて150百万円増額となりました。

なお、保有する有価証券については、満期保有目的かつ満期時において元本保証されているものですが、学校法人会計基準第27条では「取得価額に比して時価が著しく下落した有価証券については、回復可能と認められる場合を除き、時価で評価するものとする」とされており、当法人の運用規程に基づき、当年度評価減を行いました。

これらの結果、当年度消費支出超過額は103百万円で、前年度比94百万円増額となり、翌年度繰越消費収入超過額は896百万円で前年度に比べて95百万円減額となりました。

今日、私学を取り巻く環境は、学齢人口の減少等により一段と厳しくなっていますが、本学園は、健全な財務体質を維持するために教職員が一致結束して、特色のある教育活動や経費節減に取り組み、教育改革および経営改革を推進する所存です。

資金収支計算書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

収入の部

(単位：円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	3,253,673,000	3,249,644,956	4,028,044
手数料収入	32,023,000	36,946,340	△ 4,923,340
寄付金収入	0	1,000,000	△ 1,000,000
補助金収入	343,697,000	364,279,952	△ 20,582,952
国庫補助金収入	313,953,000	334,535,000	△ 20,582,000
地方公共団体補助金収入	29,744,000	29,744,952	△ 952
資産運用収入	48,629,000	47,170,732	1,458,268
資産売却収入	387,401,000	391,281,250	△ 3,880,250
事業収入	155,595,000	146,215,131	9,379,869
雑収入	40,354,000	47,341,847	△ 6,987,847
前受金収入	1,563,129,000	1,557,494,995	5,634,005
その他の収入	128,457,000	125,855,276	2,601,724
資金収入調整勘定	△ 1,511,809,000	△ 1,560,070,342	48,261,342
前年度繰越支払資金	2,467,682,000	2,467,682,001	△ 1
収入の部合計	6,908,831,000	6,874,842,138	33,988,862

支出の部

(単位：円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,821,252,000	1,815,442,092	5,809,908
教育研究経費支出	1,153,513,000	1,139,375,573	14,137,427
管理経費支出	622,952,000	613,066,098	9,885,902
借入金等利息支出	1,313,000	1,312,022	978
借入金等返済支出	9,811,000	9,810,000	1,000
施設関係支出	71,339,000	73,511,661	△ 2,172,661
設備関係支出	114,549,000	113,736,616	812,384
資産運用支出	278,965,000	298,792,606	△ 19,827,606
その他の支出	467,874,000	458,547,480	9,326,520
資金支出調整勘定	△ 412,550,000	△ 481,459,366	68,909,366
次年度繰越支払資金	2,779,813,000	2,832,707,356	△ 52,894,356
支出の部合計	6,908,831,000	6,874,842,138	33,988,862

消費収支計算書
平成21年4月1日～平成22年3月31日

消費収入の部

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	3,253,673,000	3,249,644,956	4,028,044
手数料	32,023,000	36,946,340	△ 4,923,340
寄付金	813,000	2,070,347	△ 1,257,347
補助金	343,697,000	364,279,952	△ 20,582,952
国庫補助金	313,953,000	334,535,000	△ 20,582,000
地方公共団体補助金	29,744,000	29,744,952	△ 952
資産運用収入	48,629,000	47,170,732	1,458,268
資産売却差額	3,962,000	3,961,819	181
事業収入	155,595,000	146,215,131	9,379,869
雑収入	40,354,000	47,341,847	△ 6,987,847
帰属収入合計	3,878,746,000	3,897,631,124	△ 18,885,124
基本金組入額合計	△ 147,636,000	△ 70,323,877	△ 77,312,123
消費収入の部合計	3,731,110,000	3,827,307,247	△ 96,197,247

消費支出の部

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,819,775,000	1,817,858,232	1,916,768
教育研究経費	1,360,693,000	1,344,178,863	16,514,137
管理経費	650,408,000	643,841,691	6,566,309
借入金等利息	1,313,000	1,312,022	978
資産処分差額	15,947,000	91,557,464	△ 75,610,464
徴収不能引当金繰入額	5,251,000	4,230,000	1,021,000
徴収不能額	21,205,000	26,829,840	△ 5,624,840
消費支出の部合計	3,874,592,000	3,929,808,112	△ 55,216,112
当年度消費支出超過額	143,482,000	102,500,865	
前年度繰越消費収入超過額	990,785,000	990,785,811	
基本金取崩額	554,000	7,358,407	
翌年度繰越消費収入超過額	847,857,000	895,643,353	

貸借対照表
平成22年3月31日

資産の部

(単位：円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	10,019,562,228	10,277,287,685	△ 257,725,457
有形固定資産	6,443,007,564	6,526,358,340	△ 83,350,776
土地	1,725,516,149	1,725,516,149	0
建物	3,966,645,676	4,107,102,919	△ 140,457,243
教育研究用機器備品	193,607,528	183,203,352	10,404,176
その他の機器備品	42,727,633	29,575,818	13,151,815
図書	392,928,182	388,236,049	4,692,133
建設仮勘定	37,062,360	0	37,062,360
その他の有形固定資産	84,520,036	92,724,053	△ 8,204,017
その他の固定資産	3,576,554,664	3,750,929,345	△ 174,374,681
教育研究用ソフトウェア	19,357,014	0	19,357,014
その他のソフトウェア	2,707,250	0	2,707,250
有価証券	2,478,286,000	2,681,226,000	△ 202,940,000
その他の固定資産	1,076,204,400	1,069,703,345	6,501,055
流動資産	2,978,524,602	2,586,787,327	391,737,275
現金預金	2,832,707,356	2,467,682,001	365,025,355
未収入金	84,804,096	66,926,292	17,877,804
その他の流動資産	61,013,150	52,179,034	8,834,116
資産の部合計	12,998,086,830	12,864,075,012	134,011,818

負債の部

(単位：円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	126,201,610	109,878,670	16,322,940
長期借入金	49,050,000	58,860,000	△ 9,810,000
退職給付引当金	53,434,810	51,018,670	2,416,140
長期未払金	23,716,800	0	23,716,800
流動負債	2,018,380,312	1,868,514,446	149,865,866
未払金	417,595,167	389,257,635	28,337,532
前受金	1,557,494,995	1,441,818,806	115,676,189
その他の流動負債	43,290,150	37,438,005	5,852,145
負債の部合計	2,144,581,922	1,978,393,116	166,188,806

基本金の部

科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	9,667,861,555	9,610,896,085	56,965,470
第4号基本金	290,000,000	284,000,000	6,000,000
基本金の部合計	9,957,861,555	9,894,896,085	62,965,470

消費収支差額の部

科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費収入超過額	895,643,353	990,785,811	△ 95,142,458
消費収支差額の部合計	895,643,353	990,785,811	△ 95,142,458
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	12,998,086,830	12,864,075,012	134,011,818

大学主要行事等 <4月1日~7月20日>

◆◆ 教職員の動向 ◆◆

◇法人本部◇

《職員》

■4月1日付

◎採用

東京事務所 職員 大山 康成

◇大学事務局◇

《教員》

■4月1日付

◎就任

情報メディア学部長 中岡 快二郎
 大学院研究科長 長井 敏行
 図書館長 立花 峰夫
 就職部長 中村 忠之
 教務部長 富士 隆
 医療情報学科長 和田 龍彦
 教養部長 加藤 喜久子

◎採用

教授 川上 正博 (情報メディア学科)
 教授 林 雄一郎 (情報メディア学科)
 准教授 金間 大介 (先端経営学科)
 准教授 大場 久照 (医療情報学科)
 准教授 松田 成司 (医療情報学科)
 講師 森川 悟 (情報メディア学科)

◎配置換

先端経営学科 准教授 向原 強 (医療情報学科)

《職員》

■3月31日付

◎退任

事務局長 中居 聰士
 保健センター事務室長 田中 正喜
 学習支援センター事務室長 近藤 始
 入試課長 木田 洋

■4月1日付

◎就任

事務局長兼通信教育部事務部長 近藤 始 (事務局長)
 事務局長次長兼学生サポートセンター事務室長 田中 正喜 (学生サポートセンター事務室長)
 事務局長次長兼広報室長兼入試課長 大橋 正典 (広報室長)
 教務課長兼大学院課長 木田 洋 (教務課長)

◎採用

会計課長補佐 石川 弘行
 学生サポートセンター事務室主任 木村 肇
 図書館事務室長補佐 岡田 潔

◎配置換

国際交流・留学生支援事務室長 今長 豊 (学生サポートセンター事務室課長)
 国際交流・留学生支援事務室係長 森 一峰 (学生サポートセンター事務室係長)

◎昇任

学生サポートセンター事務室課長 橋本 充浩 (学生サポートセンター事務室課長補佐)

◆◆ 主要行事 ◆◆

◇法人本部◇

5月13日 理事会・評議員会

17日~21日 有限責任監査法人トーマツ 「平成21年度決算監査」

6月 4日 労使協議会

◇大 学◇

4月 4日 入学式

6日~9日 スタートアッププログラム

8日~9日 新入生宿泊研修

12日 前期開講

16日 経営情報学部教授会

23日 情報メディア学部教授会

30日 全学教授会

5月14日 経営情報学部教授会

21日 情報メディア学部教授会

24日 学内共同研究成果発表会

30日 全学教授会

6月 9日 経営情報学部教授会

10日 創立記念日

13日 A〇入学試験(A日程)

18日~19日 体育祭

19日 情報メディア学部教授会

25日 全学教授会

7月 9日 経営情報学部教授会

12日~16日 授業参観

16日 情報メディア学部教授会

17日 月曜授業実施日

◇大学院◇

4月 5日 研究科委員会

9日 学位論文等研究計画発表会

22日 研究科委員会
 5月15日 推薦入学試験
 7月 6日 研究科委員会

◇通信教育部◇

4月 1日 前期インターネットメディア授業開始

8日 平成22年度第8回入学選考

12日 前期I Pメディア授業放映開始

5月22日~23日 前期印刷・インターネットメディア授業科目試験①

6月18日~20日 前期地方スクーリング(1)

7月 9日~11日 前期地方スクーリング(2)

12日 前期I Pメディア授業科目試験

◆◆ 広報活動 ◆◆

<進学相談会>

4月:北海道 15会場(苫小牧、室蘭、北見(2)、旭川(2)、稚内、函館、札幌、帯広、釧路、枝幸、紋別、中標津)

埼玉県 1会場(埼玉)

5月:北海道 12会場(小樽、岩見沢、帯広、釧路、北見、旭川、札幌(3)、函館、室蘭、新札幌)

青森県 3会場(弘前、八戸、青森)

埼玉県 1会場(さいたま)

6月:北海道 20会場(稚内(2)、函館、中標津、網走、江差、小樽、帯広、八雲、室蘭、北見、浦河、苫小牧、釧路、富良野、留萌、千歳、旭川、札幌、名寄)

青森県 1会場(青森)

東京都 1会場(東京)

7月:北海道 2会場(滝川、札幌)

<高校内ガイダンス>

4月:北海道 3校(深川東高校、滝川西高校、札幌大谷高校)

東京都 2校(関東第一高校、杉並学院高校)

5月:北海道 5校(檜山北高校、静内高校、平取高校、札幌龍谷学園高校、北海学園札幌高校)

1校(作新学院高校)

埼玉県 1校(東野高校)

東京都 2校(東京実業高校、豊南高校)

神奈川県2校(横浜清風高校、武相高校)

6月:北海道 18校(北海道芸術高校、札幌東豊高校、札幌北斗高校、駒澤大学附属岩見沢高校、武修館高校、札幌静修高校、旭川大学高校、札幌厚別高校、札幌北陵高校、旭川龍谷高校、札幌創成高校、札幌光星高校、当別高校、クラーク記念国際高校(大通キャンパス)、双葉高校、札幌南陵高校、札幌山の手高校、倶知安高校)

埼玉県 4校(小松原高校、本庄第一高校、細田学園高校、埼玉栄高校)

千葉県 2校(敬愛学園高校、千葉明德高校)

東京都 1校(東村山西高校)

神奈川県2校(相洋高校、向上高校)

7月:北海道 2校(北海高校、帯広北高校)

埼玉県 3校(浦和学院高校、花咲徳栄高校、小松原女子高校)

* 東京都 1校(杉並学院高校)

<高校内進路講演会>

4月:北海道 1校(上川高校)

5月:北海道 3校(小清水高校、七飯高校、上川高校)

6月:北海道 11校(札幌丘珠高校(2)、余市紅志高校、仁木商業高校、旭川商業高校、芽室高校(2)、穂別高校、釧路明輝高校、野幌高校)

7月:北海道 5校(北海道栄高校、札幌白石高校、旭川大学高校(3))

<高校出張講義>

6月:北海道 2校(芽室高校、札幌新陽高校)

7月:北海道 2校(苫小牧中央高校、鶴川高校)

<高校訪問>

4月:北海道 58校、栃木県1校、埼玉県7校、千葉県2校、東京都5校、神奈川県4校

5月:北海道230校、青森30校、茨城県2校、埼玉県7校、千葉県2校、東京都9校、神奈川県3校

6月:北海道 73校、秋田県28校、東京都2校

7月:北海道208校、千葉県1校、東京都1校、神奈川県1校

<オープンキャンパス>

4月18日 本学

5月22日 北見、釧路、函館

23日 旭川、帯広

6月20日 本学

27日 本学

<AO入試・奨学金説明会>

5月16日 本学

<通信教育部 入学説明会:本学独自>

7月:3会場(東京、福岡、広島)

◆◆ 主な来学者 ◆◆

<法人本部来学者>

6月 9日 野幌南地区民生委員児童委員協議会(大学見学:委員33名)

<大学来学者>

6月22日 日本私立大学協会北海道支部事務局長相当者会議

<広報室来学者>

4月30日 釧路明輝高校(学校長1名)

5月14日 仁木商業高校(教員1名)

6月 3日 大樹高校(大学見学:生徒7名)

4日 下川商業高校(大学見学:生徒1名)

6日 あさか開成高校(大学見学:生徒1名、保護者1名)

9日 旭川龍谷高校(大学見学:学生7名)

17日 江別高校(大学見学:生徒16名、教員1名)

24日 旭川明成高校(大学見学:生徒5名)

7月 5日 松風塾高校(教員1名)

編集後記

NHKの大河ドラマ「龍馬伝」が、視聴率20%をキープしている。その理由は、好みの問題もある。細かい論評はさておき、見ていて興味が惹かれるのは、「龍馬」を通して、変わりゆく「日本」を肌で感じることであり、「龍馬」の行動が、さらに日本の歴史を変えていく。日常にはない、ダイナミズムに心躍る日々である。皆さんのご感想は、如何でしょうか？(S)

学内報について、ご意見、ご要望などがございましたらnanakamado@do-johodai.ac.jpまでお寄せ下さい。